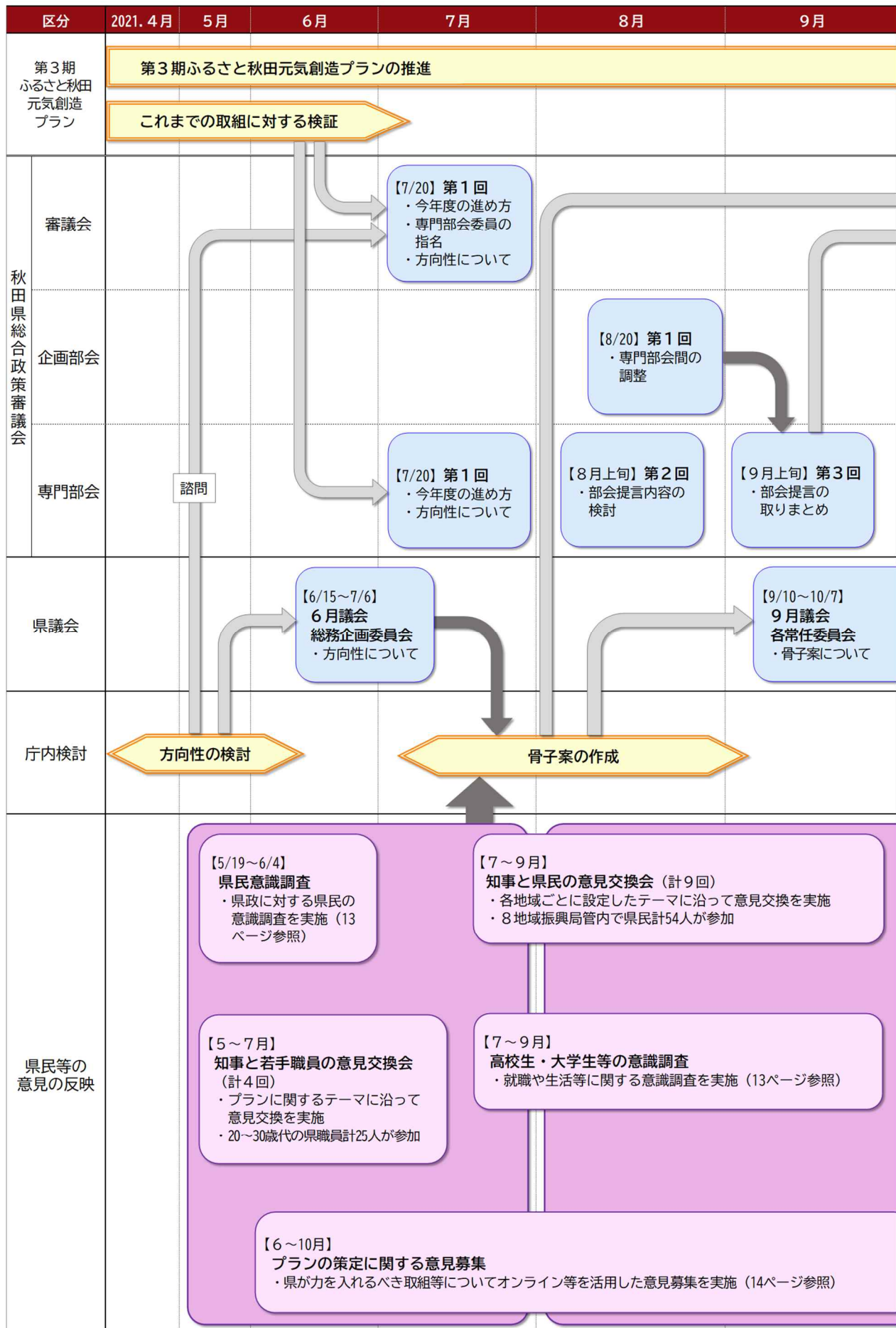
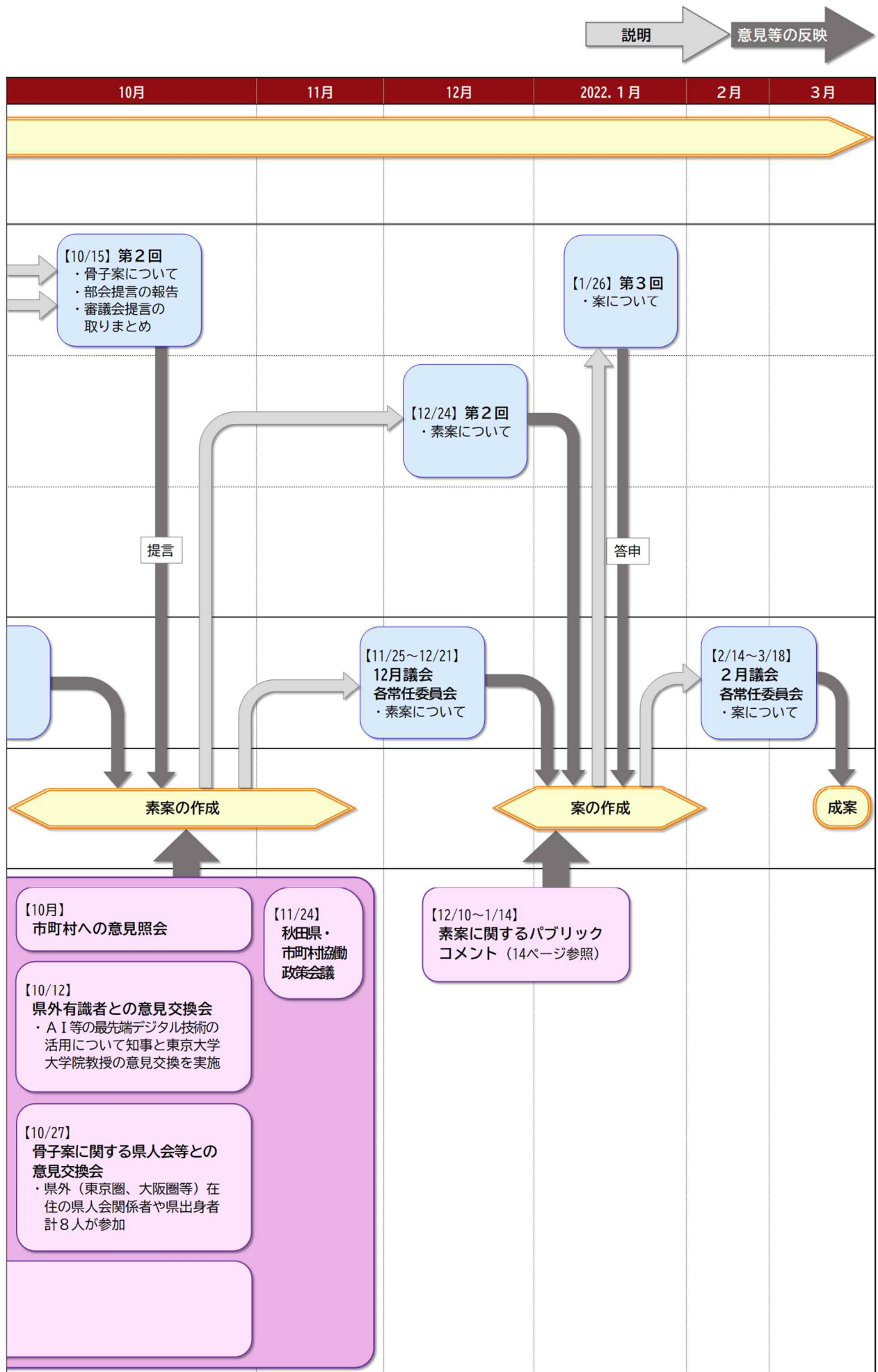


参考資料

1 プランの策定経過





2 秋田県総合政策審議会委員・専門委員名簿

【委員】

(答申日(2022年1月31日)現在、五十音順、敬称略)

氏 名	役 職 等
赤 平 一 夫	社会福祉法人湯沢市社会福祉協議会事務局次長
阿 部 浩 美	トータルサポートスクールリード学舎代表
石 井 令 人	日本放送協会秋田放送局長
加 藤 未 希	合同会社CHERISH代表社員
◆ 川 田 将 平	有限会社アグリ川田代表取締役
北 島 正 人	秋田大学教育文化学部教授
喜 藤 憲 一	秋田産業サポータークラブ幹事
沓 澤 優 子	有限会社アシスト実務工房代表取締役
工 藤 浩 一	農事組合法人たねっこ統括主任
工 藤 裕 紀	秋田県漁業協同組合専務理事
◆ 小 玉 弘 之	一般社団法人秋田県医師会会長
佐々木 文 明	藤里町長
佐 藤 有 加	立志塾RISE講師
◆ 眞 田 慎	株式会社アクトラス代表取締役
◆ 佐 野 元 彦	秋田ノーザンハピネッツ株式会社代表取締役
東海林 諭 宣	株式会社See Visions代表取締役
◆ 須 田 紘 彬	株式会社あきた総研代表取締役
関 口 久美子	株式会社トースト常務取締役
田 口 宗 弘	秋田県木材産業協同組合連合会副理事長
竹 内 健 二	一般社団法人ドチャベンジャーズ代表理事
豊 田 哲 也	国際教養大学アジア地域研究連携機構長・教授
野 崎 一	秋田県PTA連合会事務局長
能 登 祐 子	能代市自治会連合協議会会長
◆ 林 信太郎	秋田大学大学院教育学研究科教授
日 野 智	秋田大学大学院理工学研究科准教授
福 原 淳 嗣	大館市長
真 鍋 隆	日本銀行秋田支店長
◎ 三 浦 廣 巳	秋田県商工会議所連合会会長
吉 澤 結 子	秋田県立大学理事兼副学長

◎：審議会長 ◆：専門部会長

【専門委員】

(答申日(2022年1月31日)現在、五十音順、敬称略)

氏 名	役 職 等
石 場 加奈栄	一般社団法人秋田県薬剤師会常務理事
丑 田 俊 輔	ハバタク株式会社代表取締役
大須賀 信	一般社団法人秋田犬ツーリズム事務局長
黒 川 匡 子	株式会社ゼロニウム取締役
駒ヶ嶺 裕 子	弘前学院大学社会福祉学部講師
小 松 万希子	小松ばね工業株式会社代表取締役
佐 藤 宗 樹	株式会社ホクシンエレクトロニクス代表取締役
佐 藤 恵	有限会社元湯くらぶ若女将
高 橋 紅	有限会社たかえんデリカテッセン&カフェテリア紅玉取締役外食事業部長
高 橋 美佳子	株式会社フォラックス教育代表取締役
武 石 一 之	リコーITソリューションズ株式会社経営企画本部経営管理部部長
武 田 成 史	のしろ盛り上げ隊やらねすか☆48代表
照 井 昌 子	認定特定非営利活動法人環境あきた県民フォーラム理事
中 村 正 子	秋田ふるさと農業協同組合代表理事専務
蛭 田 一 美	聖園学園短期大学准教授
藤 本 陽 子	株式会社タカヤナギ商品本部・地域サポート
前 原 和 明	秋田大学教育文化学部准教授
山 名 裕 子	秋田大学教育文化学部教授
渡 邊 正 樹	日本赤十字秋田看護大学看護学部助教

3 プランとSDGsの関係

～ プランに基づく施策の推進が実現に寄与するSDGsのゴール ～

SDGsの“17のゴール” 貧困をなくそう 飢餓をゼロに すべての人に健康と福祉を 質の高い教育をみんなに	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに
				
プランの“目指す姿”				
戦略1 産業・雇用戦略				
目指す姿1 産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化				●
目指す姿2 地域資源を生かした成長産業の発展			●	
目指す姿3 歴史と風土に培われた地域産業の活性化				
目指す姿4 産業振興を支える投資の拡大				
戦略2 農林水産戦略				
目指す姿1 農業の食料供給力の強化		●		●
目指す姿2 林業・木材産業の成長産業化				●
目指す姿3 水産業の持続的な発展		●		●
目指す姿4 農山漁村の活性化		●		
戦略3 観光・交流戦略				
目指す姿1 「何度でも訪れたくなるあきた」の創出				
目指す姿2 「美酒・美食のあきた」の創造				
目指す姿3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生				
目指す姿4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			●	
目指す姿5 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築				
戦略4 未来創造・地域社会戦略				
目指す姿1 新たな人の流れの創出				
目指す姿2 結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現	●	●	●	●
目指す姿3 女性・若者が活躍できる社会の実現	●			
目指す姿4 変革する時代に対応した地域社会の構築				
目指す姿5 脱炭素の実現を目指す地域社会の形成		●	●	●
目指す姿6 行政サービスの向上				
戦略5 健康・医療・福祉戦略				
目指す姿1 健康寿命日本一の実現			●	●
目指す姿2 安心で質の高い医療の提供			●	●
目指す姿3 高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化			●	●
目指す姿4 誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現	●	●	●	
戦略6 教育・人づくり戦略				
目指す姿1 秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成				●
目指す姿2 確かな学力の育成				●
目指す姿3 グローバル社会で活躍できる人材の育成				●
目指す姿4 豊かな心と健やかな体の育成			●	●
目指す姿5 地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化				●
目指す姿6 生涯にわたり学び続けられる環境の構築				●
基本政策1 防災減災・交通基盤				
目指す姿1 強靱な県土の実現と防災力の強化				
目指す姿2 交流を支える交通基盤の強化				
基本政策2 生活環境				
目指す姿1 犯罪・事故のない地域の実現			●	
目指す姿2 快適で暮らしやすい生活の実現			●	
目指す姿3 安らげる生活基盤の創出			●	
基本政策3 自然環境				
目指す姿1 良好な環境の保全			●	
目指す姿2 豊かな自然の保全				

ジェンダー 平等を 実現しよう	安全な水と トイレを 世界中に	エネルギー をみんなに そして クリーンに	働きがいも 経済成長も	産業と 技術革新の 基盤を つくろう	人や国の 不平等を なくそう	住み続け られる まちづくりを	つくる責任 つかう責任	気候変動に 具体的な 対策を	海の豊かさ を守ろう	陸の豊かさ も守ろう	平和と 公正を すべての 人に	パートナ シップで 目標を 達成しよう
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
●			●	●			●					●
		●	●	●		●	●	●				●
●			●	●		●	●	●				●
		●	●	●				●				●
●	●		●	●		●	●	●		●		●
	●		●	●		●		●		●		●
	●		●	●		●			●	●		●
			●	●		●		●		●		●
			●	●		●	●					●
			●	●		●	●	●				●
						●						●
●						●						●
				●		●	●	●				●
			●			●						●
●			●			●						●
●			●		●	●					●	●
		●		●		●	●	●	●	●		●
						●					●	●
●			●			●						●
●			●			●						●
	●			●		●		●		●		●
		●		●		●		●				●
			●	●		●						●
					●							●
											●	●
			●	●		●						●
						●						●
	●			●		●		●		●		●
		●		●		●		●				●
						●		●			●	●
	●					●					●	●
	●					●			●	●		●
	●					●	●		●	●		●
	●					●		●	●	●		●

4 行政改革の取組一覧

改革の柱	取組項目	取組名	目標		
		取組内容		2021（実績）	2025
I 県民の利便性の向上と効率的な業務の推進	1 県民の利便性の向上	(1) D X推進等の前提となる各種手続の見直し・簡素化			
		① 押印・書面・対面規制等の申請・審査方法の見直し	書面・対面による手続の見直し割合（見直し手続数／法令等による存続を除く手続数）	書面：59.6% 対面：54.5%	書面・対面共に100.0%
		② 県の事務における県税に係る納税証明書の添付省略化等	納税証明書の添付等省略事務の割合（法律要件等を除く）	—	50.0%
		(2) 手数料等や県税における多様な支払方法の導入			
		① 各種申請手続における手数料等をキャッシュレス納付できる仕組みの構築	キャッシュレス納付が可能な手数料等の割合	1.5%	100.0%
		② 納付方法の拡大による県税のキャッシュレス納付の推進	新たなキャッシュレス手法による納付件数	—	5,900件 （自動車税） （個人事業税） （不動産取得税）
		(3) 公共施設におけるサービス改善の推進			
		① 指定管理者制度における公募要件の柔軟化等による効果的・効率的な運営の推進	外部モニタリングを実施した指定管理施設数（累計）	0施設	9施設
		② 指定管理施設の運営手法に関するサウンディングの実施	サウンディングを実施した指定管理施設数（累計）	0施設	21施設
	2 効果的・効率的な業務の遂行	(1) 業務改善の推進			
		① 事務処理マニュアルの改訂による業務の進め方・手法の見直し	新たな事務処理マニュアルによる業務の見直し件数（2022～2025年度累計）	—	600件 （1班1見直し）
		② 事務ミス防止に向けた内部統制機能向上の検討推進	重大不備事案の発生件数（毎年度0件を目指す）	1件 （2020実績）	毎年度0件
		(2) 多様な行政ニーズに的確に対応するための体制整備			
		① 職員の専門性の向上や幅広い視野を得るための長期的視点に立った人事配置と研修の実施	成長を実感している職員の割合	66.3%	75.0%
		② 多様な人材が活躍できる職場づくり	職場に「働きやすさ」や「働きがい」を感じている職員の割合	65.2%	75.0%
		(3) 県・市町村間の協働の推進			
		① 秋田県・市町村協働政策会議等の運営	県・市町村協働政策会議等の開催回数（2022～2025年度累計）	5回	16回
		② 生活排水処理事業における県・市町村連携の推進	生活排水処理施設の流域下水道への接続処理区数（累計）	16処理区 （2020実績）	29処理区

改革の柱	取組項目	取組名	目標		
		取組内容		2021（実績）	2025
Ⅱ 官民対話の更なる促進	1 官民による双方向対話の促進	(1) 幅広い世代に伝わる広報の推進			
		① 広報媒体の特性を生かしたメディアミックスによる情報発信	県民意識調査における「広報活動の現状評価」※1	65.1%	70.0%
		② 利用者の視点によるウェブサイト・SNS等の点検・評価	ア 県民意識調査における「県が発信する情報の取得方法」※2 イ 県が管理・運営するウェブサイトの平均アクセス数	ア 22.5% イ 119,250 (2020実績)	ア 25.0% イ 127,000
		(2) 県民や民間団体等との対話の促進			
		① 施策・事業の推進に向けた関係団体等との情報交換の充実	官民対話の実施回数	38回	160回
		② 審議会等委員への多様な人材の登用	審議会等における公募委員数	41人	60人
	2 県有施設の整備等に係る公民連携手法の導入推進	(1) 公民連携地域プラットフォームによる官民ネットワークの形成			
		① 公民連携手法導入に向けた官民双方の意識の醸成	プラットフォーム参加者のPPP/PFIに対する理解の度合い	38.8%	80.0%
		② 施設整備等の構想段階におけるサウンディングの実施支援	サウンディングの実施団体（行政）及びサウンディング参加企業等における満足度	—	80.0%
		(2) 新規・更新公共施設等への公民連携手法の導入推進			
		① 優先的検討方針に基づくPPP/PFI手法の導入検討の着実な実施	サウンディングの実施施設数（2022～2025年度累計）	4施設	16施設
		② 新県立体育館の整備に向けた公民連携手法の導入検討	検討の着実な推進（2023年度中に公民連携手法導入の適否を判断する）	—	2023年度中に適否を判断

※1 「十分行われている」及び「ある程度行われている」の割合

※2 「県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等）」及び「ソーシャルメディア（ブログ、ツイッター、フェイスブック、動画サイト等）」の割合